

つきたい力

- ・本、資料やインターネットから情報を読み解く力
- ・多くの本、資料やインターネットから、目的に合った情報を取捨選択し、その情報を活用する力

取組みの概要・ポイント

- ・書籍、新聞や各種統計資料を活用するための基本的スキル(引用・要約等)を学び、実践する
- ・教科のねらいと子どもにつきたい力を見極めた授業を構想し、図書館資料等を活用することによって、「パフォーマンス課題」(様々な知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような複雑な課題)を設定した授業づくりを行う

具体的な取組みの内容

①学校図書館を活用した授業づくり

◎今年度当初における本校の課題

- 図書に触れる機会が少ない(授業も含めて)
- 読解力、読む力に課題



◎今年度、本校の授業づくりのテーマ

考えたい「問い」で、脳に汗かく授業づくり「読解力向上・学力向上」のツールとして、書籍・新聞・インターネットなどを複合的に使用しながら、授業における図書活用の推進

- ・「逆向き設計の授業づくり」のために「パフォーマンス課題」を設定
- ・パフォーマンス課題に取り組む際に、授業に図書活用を取り入れることが増えている



パフォーマンス課題例<1年 技術科>

あなたは幼稚園の園長先生です。園庭に新しく椅子を置くことにしました。園児が喜び、使いやすい椅子を考えましょう。(形や素材を考えながら)

生徒に意識してほしいこと
→情報カードの使用
引用と要約の違いを理解する



市立図書館シープラとの連携

- 授業で使いたい本を単元や内容に応じて図書館側が選書・貸出してくれる
- 半年で6教科で約360冊を貸し出し依頼



②本に親しむ場づくり～図書館、本や新聞との距離を近いものに～

図書館の環境整備



図書館内のレイアウトに工夫
→書籍を手に取りたくなるような工夫

- ・表紙が見えるように書籍を置く
- ・生徒や教職員が書いた本の紹介とともに本を置く
- ・特集コーナーを複数設置(姉妹都市オーストラリアシドニー市の絵本や中高生新聞コーナーなど)

自習コーナーの設置

自習できるように個別ブースを設置。学習センターとして整備している。



朝読書



- ・朝読書の本を自分で用意できない生徒のために、教室に「朝読書用」の本を設置
- ・設置する本は学校図書館の中からクラスの文化委員が選書
- ・1か月ごとに本を更新
→朝読書の時間に本を手にする生徒が増えてきた

返却BOXの設置

- ・校内3か所に2学期より返却BOXを設置
- ・返却BOXを利用している返却率も高め



取組みを通しての子どもの変容

- ・生徒アンケートより、「学校図書館での学習や本や資料を使って調べることは楽しい」(R3年度→47%、R4年度12月→59.7%)、「本やインターネットなどで調べたことをもとに自分の考えをまとめて書いたり話したりしている」(R3年度→41.2%、R4年度12月→70.6%)などの項目について、肯定的回答の割合が高くなった
- ・授業における図書館活用に抵抗なく取り組めるようになってきており、図書館活用が珍しいものでなくなっている
- ・返却BOXの設置により、以前より返却しやすくなった(特に図書館から遠い学年の校舎に置いているBOXを利用している返却が多くなった)
- ・授業の課題のため本を借りて帰る生徒もでてきた
- ・貸し出し冊数が昨年度より増加した
- ・自習コーナーの設置により、勉強のために昼休みに来館する生徒がでてきた(特に3年生)